



TITLE:

今年のイースター祭

AUTHOR(S):

CITATION:

今年のイースター祭. 天界 1940, 20(227): 148-148

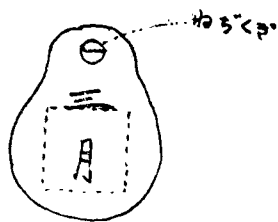
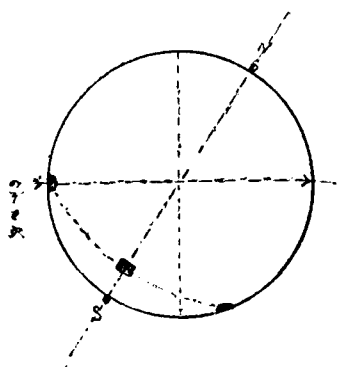
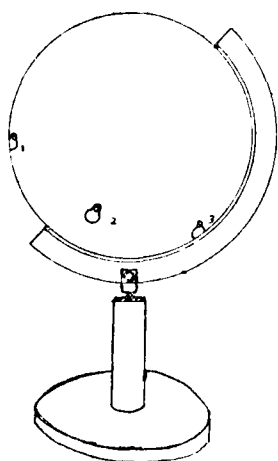
ISSUE DATE:

1940-02-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/167955>

RIGHT:



三月ののぞき穴をあけてみる。この時の状態は三月15日午後9時の空である。二月の15日頃なれば、大體午後11時頃である。四月なれば午後7時と、近接の月日の空をうかがふ事も出来る。今、三月の空から大熊座を指示し

やうとするなら、大熊座の場所を外から豆電球にて照射するか、或は手を用ひて光を亂すことにより、内部をのぞいてゐる者に、その所在をしらしめ得る。個々の星についても、同様にして行ひ得る。

4. 結 尾

斯の如くにして、兒童がその觀察によりて晝間に暗夜を見出し、興味をもつて學習し得ること、星座表の平面的なるに比して寫實的立體的であるところに學習上の効果を信するのである。今この器を使つて居て、其の後に改良したいところ2,3在り、その具體方法も考へ終つたが、出品したときのまゝのその姿に於て、こゝに書き終つた。

今年のイースター祭

歐米諸國で昔しから重要視されるイースター（基督降誕祭）は、一般に春分の次ぎの満月の次ぎの日曜日といふことになつてゐます。ところが、今年は春分が三月21日、満月が同24日、日曜が又24日となつてゐて、ちよつと變に思はれますが、こうしたことは皆グリニチ時で計算されるので、満月はグリニチ時刻では23日19時35分となつてゐます。それで、其の翌日の日曜日がイースターといふことに、何の不思議もないのです。